

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	運営理念を基本とした入居者様への対応を徹底することを全職員に浸透させ、「不適切なケア」がないよう日々のケアの中で各自で意識し、さらにお互いが注意し合える雰囲気を作り、維持していくこと。	「より良い介護」、「感動ある介護」という運営理念から具体的に挙げた6項目の行動規範の浸透をさらに目指す。「不適切なケア」について常に意識して、職員同士が注意し合える環境とする。	「接遇委員会」を中心とした定期的な日頃のケアの見直しと、「接遇自己チェックシート」を活用した運営理念の実践についての見直しを継続していく。各フロアのケアカンファレンスでは、入居者様の立場からこれまでの生活歴等を尊重したケアとなるように努める。	12ヶ月
2	13	各入居者様のケアカンファレンス時に職員以外の御家族、主治医等の各関係者の意見の内容を記録として明記していくことが必要である。	各入居者様のケアカンファレンスの記録として、ご本人の意見の他に御家族、主治医等の関係者の意見についても明記して、日々のケアに反映するように努める。	各入居者様のケアカンファレンス実施時に、職員、ご本人の意見だけでなく、御家族、主治医等の関係者の意見を確認することを徹底し、それをしっかり記録する。特に各フロア長、計画作成担当者はそのことを意識する。	12ヶ月
3	22	日常の散歩の他にも、さらに外出の機会を増やして、入居者様に積極的にホームの外の環境にも接して頂けるようにすることが必要である。	入居者様の「外出」のイベントとしても、行きたい場所やご本人の希望の場所へ出掛けることができるように計画して、実践する。	「レクリエーション委員会」を中心にして、ご本人、御家族の希望も確認しながら、職員間で入居者様の外出として一つのイベントとなるように協議して、安全に楽しく実行できるように計画する。	6ヶ月
4		b			ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。